



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 藤川 俊明 TEL 011-864-1111

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	69,259	△1.0	794	22.9	948	21.6	606	23.0
2019年3月期第3四半期	69,926	2.6	646	△28.6	780	△22.7	493	△16.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 619百万円 (52.9%) 2019年3月期第3四半期 405百万円 (△45.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	40.38	—
2019年3月期第3四半期	32.83	—

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	48,990	13,553	27.4
2019年3月期	42,513	13,023	30.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,418百万円 2019年3月期 12,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	0.2	950	2.8	1,160	0.3	650	△15.1	43.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	16,694,496株	2019年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,665,062株	2019年3月期	1,664,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	15,029,454株	2019年3月期3Q	15,029,593株

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の深刻化や不安定な国際情勢の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、新設住宅着工戸数の減少が続いていることに加え、人手不足による労務単価の上昇や建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇が続いており、依然として楽観は許されない状況であります。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けて営業力の強化と施工体制の拡充を推進したほか、非住宅部門への積極的な営業を展開するとともに、粗利益率の改善に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高692億59百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は7億94百万円（同22.9%増）、経常利益は9億48百万円（同21.6%増）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6百万円（同23.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

住宅投資の減少などから売上高は479億22百万円（前年同期比1.3%減）となりましたが、セグメント利益は7億12百万円（同28.6%増）となりました。

建設工事

売上高は180億71百万円（同0.1%減）となりましたが、セグメント利益は4億9百万円（同14.1%増）となりました。

資材運送

売上高は29億36百万円（同1.5%減）となりましたが、セグメント利益は2億64百万円（同5.4%増）となりました。

その他

売上高は3億29百万円（同4.5%増）、セグメント利益は1億9百万円（同17.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ64億77百万円増加して489億90百万円となりました。流動資産は同66億71百万円増加して380億12百万円、固定資産は同1億93百万円減少して109億78百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産の減少の主なものは、有形固定資産の建物及び構築物の償却による減少や無形固定資産ののれんの償却によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同1億47百万円減少して76億42百万円となりました。無形固定資産は、同64百万円減少して4億22百万円となりました。投資その他の資産は、同18百万円増加して29億13百万円となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ59億48百万円増加して354億37百万円となりました。流動負債は、同62億15百万円増加して316億61百万円、固定負債は同2億66百万円減少して37億75百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ5億29百万円増加して135億53百万円となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.3%から27.4%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,110	4,970
受取手形及び売掛金	20,363	25,081
商品及び製品	416	538
販売用不動産	1,001	1,320
未成工事支出金	2,209	5,559
原材料及び貯蔵品	55	73
その他	266	549
貸倒引当金	△82	△81
流動資産合計	31,341	38,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,597	3,457
土地	3,313	3,330
その他(純額)	878	854
有形固定資産合計	7,790	7,642
無形固定資産		
のれん	312	208
その他	174	213
無形固定資産合計	487	422
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	212	217
その他	2,819	2,830
貸倒引当金	△137	△134
投資その他の資産合計	2,894	2,913
固定資産合計	11,172	10,978
資産合計	42,513	48,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,148	16,244
電子記録債務	7,154	8,195
短期借入金	2,880	2,030
1年内返済予定の長期借入金	290	290
未払法人税等	280	162
賞与引当金	220	85
完成工事補償引当金	33	32
その他	2,438	4,621
流動負債合計	25,446	31,661
固定負債		
長期借入金	2,286	2,068
退職給付に係る負債	85	89
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,442	1,388
固定負債合計	4,042	3,775
負債合計	29,489	35,437

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	12,384	12,901
自己株式	△446	△446
株主資本合計	12,680	13,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	230
退職給付に係る調整累計額	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	209	220
非支配株主持分	133	135
純資産合計	13,023	13,553
負債純資産合計	42,513	48,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	69,926	69,259
売上原価	63,848	62,965
売上総利益	6,078	6,293
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,684	2,679
その他	2,747	2,820
販売費及び一般管理費合計	5,431	5,499
営業利益	646	794
営業外収益		
受取利息	26	23
受取配当金	35	32
持分法による投資利益	32	34
雑収入	116	127
営業外収益合計	210	217
営業外費用		
支払利息	52	51
債権売却損	16	0
雑損失	7	12
営業外費用合計	76	63
経常利益	780	948
特別利益		
固定資産売却益	195	21
投資有価証券売却益	0	0
補助金収入	83	—
特別利益合計	279	22
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	107	1
固定資産圧縮損	82	—
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券評価損	14	—
投資有価証券清算損	—	4
その他	—	0
特別損失合計	204	7
税金等調整前四半期純利益	854	963
法人税等	357	355
四半期純利益	497	608
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	493	606

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	497	608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	8
退職給付に係る調整額	9	2
その他の包括利益合計	△92	11
四半期包括利益	405	619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	617
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,532	18,098	2,980	69,611	315	69,926	—	69,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	965	400	486	1,852	62	1,915	△1,915	—
計	49,498	18,498	3,466	71,463	378	71,841	△1,915	69,926
セグメント利益	554	358	251	1,164	93	1,258	△611	646

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△611百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△678百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,922	18,071	2,936	68,930	329	69,259	—	69,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	812	216	436	1,465	63	1,528	△1,528	—
計	48,734	18,288	3,372	70,395	392	70,788	△1,528	69,259
セグメント利益	712	409	264	1,387	109	1,496	△702	794

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△702百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△792百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。